

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態																																							
精神看護学演習Ⅲ(精神看護援助方法)	1	後期	2	演習 60時間																																							
担当教員	田中美恵子、中島洋一、松丸直美																																										
授業概要	専門的知識と技術に基づいた高度な看護実践を提供できるようになるために、オレム・アンダーウッドセルフケアモデルを理論的ベースにして、精神力動理論やこれまで学習してきた理論・技法を用いながら、さまざまな精神疾患に対する看護援助の実際について学習する。また多職種連携に基づく看護実践を学ぶ。加えて、各疾患の看護援助について、各自で文献学習を行い、高度実践看護師としてエビデンスに基づいた直接ケア・間接ケアが提供できる能力を養う。																																										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 専門的知識と技術に基づいた高度な看護実践を提供できるようになるために、オレム・アンダーウッドセルフケアモデルを用いて、各精神疾患患者に対する看護援助について学習する。 2. 安房地区地域移行支援事業協議会の事例検討会に参加し、地域における多職種連携の実際と看護実践を学ぶ。 3. 上記の学習を踏まえ、高度実践看護師として精神看護援助で課題となる問題を見定め、文献学習を行い、各課題へのエビデンスに基づいた対応について検討する。 																																										
履修条件	精神看護学特論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを履修済みのこと																																										
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1-2</td> <td>オレム・アンダーウッド・セルフケアモデル(以下、SCモデル) : SCモデルについて学習する。</td> <td>田中</td> </tr> <tr> <td>3-5</td> <td>統合失調症への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)</td> <td>田中</td> </tr> <tr> <td>6-8</td> <td>抑うつ障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)</td> <td>田中</td> </tr> <tr> <td>9-11</td> <td>双極性障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)</td> <td>田中</td> </tr> <tr> <td>12-14</td> <td>不安障害患者・強迫性障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)</td> <td>田中</td> </tr> <tr> <td>15-17</td> <td>心的外傷および解離性障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)</td> <td>田中</td> </tr> <tr> <td>18-20</td> <td>身体症状症および摂食障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)</td> <td>田中</td> </tr> <tr> <td>21-22</td> <td>物質関連障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)</td> <td>田中</td> </tr> <tr> <td>23-24</td> <td>パーソナリティ障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)</td> <td>田中</td> </tr> <tr> <td>25-26</td> <td>ひきこもり、虐待への地域支援: ひきこもり、虐待に対する地域支援について、文献等を通して学習する。</td> <td>田中</td> </tr> <tr> <td>27-28</td> <td>地域の多職種連携と看護実践: 安房地区地域移行支援事業協議会の事例検討会に参加し、多職種連携と看護援助の実際について学ぶ。</td> <td>田中・松丸</td> </tr> <tr> <td>29-30</td> <td>これまでの学習を踏まえ、精神看護援助で課題となる問題を見定め、文献学習を行い、その課題へのエビデンスに基づいた対応について検討し報告する。</td> <td>田中・中島・松丸</td> </tr> </tbody> </table>				回	内容	担当教員	1-2	オレム・アンダーウッド・セルフケアモデル(以下、SCモデル) : SCモデルについて学習する。	田中	3-5	統合失調症への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)	田中	6-8	抑うつ障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)	田中	9-11	双極性障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)	田中	12-14	不安障害患者・強迫性障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)	田中	15-17	心的外傷および解離性障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)	田中	18-20	身体症状症および摂食障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)	田中	21-22	物質関連障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)	田中	23-24	パーソナリティ障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)	田中	25-26	ひきこもり、虐待への地域支援: ひきこもり、虐待に対する地域支援について、文献等を通して学習する。	田中	27-28	地域の多職種連携と看護実践: 安房地区地域移行支援事業協議会の事例検討会に参加し、多職種連携と看護援助の実際について学ぶ。	田中・松丸	29-30	これまでの学習を踏まえ、精神看護援助で課題となる問題を見定め、文献学習を行い、その課題へのエビデンスに基づいた対応について検討し報告する。	田中・中島・松丸
回	内容	担当教員																																									
1-2	オレム・アンダーウッド・セルフケアモデル(以下、SCモデル) : SCモデルについて学習する。	田中																																									
3-5	統合失調症への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)	田中																																									
6-8	抑うつ障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)	田中																																									
9-11	双極性障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)	田中																																									
12-14	不安障害患者・強迫性障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)	田中																																									
15-17	心的外傷および解離性障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)	田中																																									
18-20	身体症状症および摂食障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)	田中																																									
21-22	物質関連障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)	田中																																									
23-24	パーソナリティ障害患者への看護援助: SCモデルを活用した事例検討(2例程度)	田中																																									
25-26	ひきこもり、虐待への地域支援: ひきこもり、虐待に対する地域支援について、文献等を通して学習する。	田中																																									
27-28	地域の多職種連携と看護実践: 安房地区地域移行支援事業協議会の事例検討会に参加し、多職種連携と看護援助の実際について学ぶ。	田中・松丸																																									
29-30	これまでの学習を踏まえ、精神看護援助で課題となる問題を見定め、文献学習を行い、その課題へのエビデンスに基づいた対応について検討し報告する。	田中・中島・松丸																																									
教科書	特に指定せず。																																										
参考書	適宜紹介																																										
評価方法・基準	事例検討への参加度30%、レポート70%とし、総合的に評価する。																																										
事前・事後学習	各疾患の援助について事前学習しておくこと。事後にはさらに文献学習を進めること。																																										
備考	特になし																																										